

常不輕菩薩の生き方に切り替えよう

【3月4月度の御金言】聖人と申すは委細に三世を知るを聖人と云ふ。・・・日蓮は一閻浮提第一の聖人なり。・・・幸いなるかな楽しきかな、穢土に於て喜樂を受くるは、但日蓮一人なるのみ。 『聖人知三世』(全974頁)

法華講信条

三寶院 HPQR コード

- 1, 謗法嚴戒の信仰を貫こう。(信心)
- 1, 行学絶へなば仏法はあるべからず。(行学)
- 1, ただ一言でも妙法を伝える勇気を持とう。(破邪顕正)
- 1, どんなことがあっても憶持不忘の信心を貫こう。
- 1, 現世利益絶対否定の信心をしよう。(示教利喜)
- 1, 成仏大願、菩提心堅固の精進をしよう。
- 1, 御題目を唱える為にこそ生まれてきた自覚を持とう。
- 1, 噂に流されない、人に媚びへつらわない自立した信心をしよう。
- 1, 妙法聞法の縁を大切に求道の信心をしよう。

1991年2月13日掲載

☆ただ一言でも妙法を伝える勇気を持とう。(破邪顕正)

【我深く汝等を敬う、敢えて輕慢せず、所以は何ん、汝等皆菩薩の道を行じて、当に作佛することを得べしと】

常不輕菩薩は、末法の法華經の行者の手本であり、日蓮大聖人は、常不輕菩薩の跡を継がれ、法華經の行者として生きる姿こそが成仏の姿である事を示されています。

【我深く汝等を敬う・・・】

おまえは謗法だ！地獄に墮ちろぞ！地獄に墮ちろ！邪宗だ！害毒だ！信仰しないと事故に遭い！不具者になるぞ！病気になって死ぬぞ！無間地獄行きだ！信仰すれば功德を頂き絶対の幸せな境涯が開ける！人間革命が出来る！

こういう暴力的、排他的、現世利益的な言葉は一切言っていません。ただひたすら、

【あなた方には南無妙法蓮華經の仏性が具っている】

というだけで、気味悪がられて、悪口を言われても、罵られても、笑われても、石を投げられ、杖で打擲されても、逃げまどいながら、何度も何度も、この事を言い続けます。南無妙法蓮華經の法縁に触れさせる事が法華經の行者の使命と責任であり、その事が一番の功德、歡びだからであります。広宣流布とは一切衆生平等成仏の事であります。全ての生命は、地獄・餓鬼・畜生・修羅・人間・天上・声聞・縁覚・菩薩・佛の十界互具の生命であります。何十年と信仰を貫いてきた人の生命だから、もう地獄・餓鬼・畜生・修羅の生命は無くなりましたという訳にはいかないのです。絶対に無くならないのであります。つまり、世界中の人が日蓮大聖人の法を信じて御受戒を受けて、御本尊を安置しても、日蓮大聖人の法を疑い、信心修行をさぼり、不信の心、謗法の心、退転の心を無くす

事は出来ないのであります。つまり、順縁の広宣流布は十界互具の生命を基礎とすれば有り得ない空想なのであります。真実実現可能、大地を的とすべき広宣流布は逆縁の広宣流布であります。常不輕菩薩の広宣流布であります。世界中の人、宇宙中の三世森羅万象の生命に

【我深く汝等を敬う・・・・・・・・】と法縁を結ぶ広宣流布であります。

寝言でも、独り言のつぶやきでも、一生のうち、たった一人の為だけに、南無妙法蓮華經を伝えるだけでも良いと、法華經に説かれています。それでも、どんなに小さくても、心に南無妙法蓮華經を信じる勇気を奮い起こさなければ、寝言にも独り言にも、南無妙法蓮華經の心、南無妙法蓮華經の声は出てこないのであります。